

学校支援を積極的に進める

## 地域と連携し、学校の教育活動を支援する P T A 活動

江南市立草井小学校 P T A

### 1 はじめに

本校は、全校児童数 373 名、各学年 2 学級、特別支援学級 3 学級の 15 学級の中規模校である。江南市の北部に位置し、北は木曽川を境に岐阜県と隣接している。校区には、すいとぴあ江南とフラワーパーク江南があり、河川敷を生かした施設が並ぶ。校内には、平成 15 年に竣工した草井自然園（ビオトープ）があり、児童は休み時間に昆虫採集をするなど、自然に親しむ環境がある。自然園を中心としてビオトープ同好会やホタル観賞会など、さまざまな地域とのつながりができている。P T A 活動も学校を包み込み、児童の活動を支援する団体の一つとして有意義なものとなるように活動を行っている。



【草井小学校 右の木々がビオトープ】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校 P T A は、学校教育の充実、会員同士のつながり、教育環境整備を目的に、児童の心豊かで健やかな成長を支えてきた。昨今、生活様式や考え方の多様化、共働き家庭の増加などから P T A 活動の内容の見直しを行ってきた。また、新型コロナウイルス感染症の流行のため、新たな教育活動が模索されている。そんな状況が相まみえて、本校 P T A では、「子どもたちを応援する保護者と先生のチーム」を合い言葉とし、「できることを、できるときに」を大切に、だれでも無理なくできるように活動をしている。

#### (2) P T A 組織と主な活動

本校の P T A は、会長 1 名、副会長 2 名、書記 2 名、会計 2 名の 7 名の役員、地区ごとに 1 名以上の常任・地区委員を中心に活動を行っている。昨年度、各地区の常任委員と地区委員を統合し、組織のスリム化を行ったところである。役員、委員は、広報・安全委員会、研修委員会、厚生委員会の 3 つの専門委員会に所属し、活動をしている。なお、常任・地区委員の再編により、専門委員会も昨年度より、広報委員会と安全委員会を統合し、広報・安全委員会としている。各委員会の活動概要は【資料 1、2】の通りである。

安全・広報委員会
・冬、春休みの校区巡回 (愛の一声運動)
・学校行事のサポート (体育発表会、学習発表会)
・機関誌の発行
研修委員会
・教育講演会の運営補助
・各研修会への参加
・PTA研修会の開催
厚生委員会
・各種回収活動
・給食試食会の開催
・学校保健委員会の運営補助



## 【資料 1、2 草井小 P T A の組織及び活動】

### 3 実践活動の概要

#### (1) 学校への支援

##### ① 教育講演会

毎年6月に、地域、学校と共催で、教育講演会を行ってきた【資料3】。近年はコロナ禍の影響もあり、満足に行えなかったが、新たな形を模索しながら次への一步を踏み出す年となった。本年度は、ふれあい鑑賞会とし、影絵劇の鑑賞を行った。コロナ禍での分散開催のよさも残し、発達段階に合わせて演目も変更した。久しぶりに地域の方々もお招きしての素敵な会となった。



#### 【鑑賞会を楽しむ児童と保護者】

年度	演目	参加者
2018	講話「まなぶ楽しさを求めて」	全校児童、希望保護者、地域の希望者
2019	講話「健康で元気に過ごすための食事」	全校児童、希望保護者
2020	中止	
2021	講話「地球温暖化と気象と防災」	5、6年児童、希望保護者のみ
2022	金管アンサンブルコンサート	全校児童、希望保護者のみの2部制
2023	影絵劇とワークショップ	全校児童、希望保護者、地域の希望者の2部制

#### 【資料 3 近年の教育講演会】

##### ② 給食試食会

食の安全や学校給食への関心が高まる昨今、年に一度、1年生保護者に学校給食を体験してもらう会を開催している。試食会では、他校より栄養教諭を招いて、食の大切さや給食

献立の工夫について講話をしていただいた。参加者からは、「地産地消や郷土料理、学習と関連したメニューなどいろいろなことが考えられてメニューが決まっているのがよいと思いました。レシピを時々紹介してもらえると嬉しいです。味の濃さや食べる量の目安にしたいです」「家ではあれだけの具材を入れられないので、手が込んでいるなと思いました」「今朝、試食会に行く話をしたら、給食はおいしいよと子どもが言っていました。今後献立を気にして子どもとの話題にしたいです」などと、家庭での食育につながっていく確かな手応えをつかむことができた。



【給食配膳体験】

### ③ 学校保健委員会

厚生委員を中心に、学校保健委員会に参加し、子どもの健康について考えを深めている。昨年度までは、やむを得ず参加保護者の人数制限を行っていたが、本年度は希望する全ての保護者に参加いただいた。お招きする講師もNPO法人、保健センター、食料品企業の方と多種多様で、毎回さまざまなお話をしていただいている。「自分が子どものころにも教えていただきたかった」「年に何回か子どもたちの授業にもぜひ取り入れてほしい」などと、好評をいただいている。前述の食育も含めて、PTAが参加し、保護者と共に子どもの心と体の健康を考えていく機会をつくっていくことは学校支援の大切な柱の一つである。

### (2) 学校運営協議会との支援

本校では、平成29年度に学校運営協議会が創設され、さまざまな活動を行っている。PTA役員を中心に、学校運営協議会の活動にも参加し学校を支援している。

#### ① ビオトープ同好会

草井自然園ができて20年となる。常時、維持管理に努めるビオトープ同好会の会長、副会長は、PTAのOBである。子どもたちの貴重な自然体験の場である自然園の環境を守っていかうと、PTA役員、会員も月一回のボランティア活動に参加している。活動内容は、川や池の清掃、樹木や草花の管理、木柵やデッキのメンテナンス等である。参加できるときだけ無理なく参加している。時には、子どもを連



【作業後の楽しい談話】



れて参加してくれる保護者もいる。

② 読み聞かせボランティア

週に一回、1学年2学級に、朝の15分間の読書の時間に読み聞かせ活動を行っている。この会もPTA会員、PTAのOB



【読み聞かせの様子】

Bが中心となって活動している。子どもたちに人気の絵本や季節の行事に合わせた絵本、我が子に読んであげたい絵本の読み聞かせを行っている。学校に1人1台の学習者用情報端末が導入されたことで、以前よりも読書離れが危惧される今だからこそ、子どもたちに読書の魅力を伝えるために、日々活動している。保護者にとっても、教室で直の空気を吸い、雰囲気を感じられる貴重な機会となっている。

③ 児童安全推進協議会

区長が中心となり、地域全体で登下校を中心に子どもたちの安全を守るための会である。PTA常任・地区委員はパトロール部員として活動に参加している。長期休みの校区パトロールや毎月第2・4水曜日の下校時見守りを始め、通学路、通学班集合場所の安全点検や子ども110番の家の確認や増設のための運動も行っている。



【登校の見守り】

め、通学路、通学班集合場所の安全点検や子ども110番の家の確認や増設のための運動も行っている。

④ 挨拶運動

地域の区長や児童委員、PTA役員を中心とした挨拶運動に加え、校区の中学校の先輩も参加しての朝の活動を行っている。地域の大人と共に、前年まで学び舎を共にしていた身近な先輩が爽やかに挨拶する姿を、子どもたちは憧れの眼差しで見つめる。この思いがつながり新しい伝統となっていくのがとても楽しみである。今年度は小学生も挨拶隊に加わる方法を検討している。

#### 4 おわりに

コロナ緊急事態宣言の終了がうたわれ、新たな生活が訪れようとしている。PTAも新たな活動の形を探っていかななくてはならない。役員・委員を始め、会員の負担感を減らし、「できることを、できるときに、無理なく」を真の意味で実現し、持続可能な組織にしていかななくてはならない。家庭と地域、学校とをつなぐこと、これこそがPTAの最も大切な学校支援である。